

■養成する教員像とそれを実現するための計画

【体育学部】

体育学部では、体育・スポーツに関する最新の科学理論と技術を教授し、豊かな教養と幅広い識見を備えた実践的・創造的で高度な専門性を有した教員の養成を目標としている。

〔スポーツ教育学科〕

スポーツ科学の知識と優れた指導法を身に付け、スポーツの普及に貢献できる体育・スポーツの指導者を養成すると同時に、青少年の人間性・社会性の形成に貢献できる保健体育の教員

〔健康・スポーツマネジメント学科〕

豊かな人間性をベースに健康の維持・推進やアスレックトレーニングに関する医・科学、運動、スポーツ、レクリエーションに関するマネジメントの知識と技能を有した保健体育の教員

中学校・高等学校 保健体育教諭	
1 年次	教養科目の履修を通じて幅広い教養教育の育成の必要性について理解する。 専門科目の講義と実技の履修により、体育・スポーツの専門家になるための基礎学力形成に努め、幅広い実技科目についても習熟する。 授業やクラブ活動を通じて、幅広い人間関係の形成を身につける。
2 年次	専門基礎科目の履修と共に発展科目で書く各学科の基礎となる講義と実技をさらに学び、専門性を高める。 教職関連科目の履修により、教職への興味関心を深めると同時に「保健体育教師像」を明確にし、各学科の専門性養成について理解を深める。
3 年次	インターンシップ実習を通じて理論と実践を融合させた学びを行う。 応用科目において各コースの内容に応じた講義・実習・現場体験を通じて専門分野について理解を深める。
4 年次	教育実習の実施により、教職への意識を高め、使命感について理解する。 教職実践演習により、教育実習の省察を行うなかで、実習での教育活動の意味や意義について分析し、深い理解を得る。また、教職に対する使命感と意欲を喚起し継続的な教職希望意識の醸成を行う。